

作業開始前に本書を必ず一通りお読みになり、内容をよく理解してから作業を始めて下さい。

KAWASAKI '25- KLX230 SHERPA / S / SM (8BK-LX232A)

DESERTBOX サイレンサー



取付説明書

<商品内容>

・ **DESERTBOX** サイレンサー ×1

- ※ 説明書内の写真は試作品の為、実際の商品とはパイプの形状等、一部異なる場合があります。
- ※ 作業は平坦な場所でエンジン、マフラーが完全に冷えた状態で行なって下さい。
- ※ 本製品にはサイレンサー差し込み部のジョイントガスケットは付属しておりません。

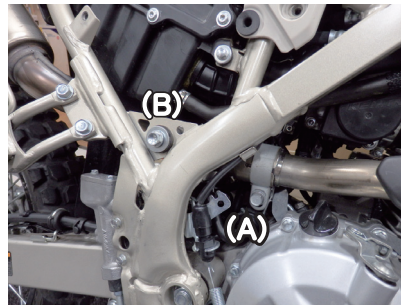
<取付所要時間の目安>
約30分

- ガスケットは状態により再使用可能ですが、傷んでいる場合には純正品、もしくは車種専用サイズの物をご購入の上、新品に交換して下さい。
- ※ ボルト類の組み付け時には、緩み防止の為に“ネジロック剤”を塗布の上、締め付ける様にして下さい。
- ※ キズ付き防止の為に、マフラー取り付け部廻りの塗装部分にはあらかじめガムテープ等を貼っておく事をお勧めします。

1 純正サイレンサーを取り外します。



右・サイドカバーを取り外します。



エキゾーストパイプとサイレンサーボディの接合部を固定しているバンドのボルト(A)を緩めておき、サイレンサーボディをフレームに固定しているボルト(B)を抜き取ります。



サイレンサー上部の固定箇所を取り外し、サイレンサーボディ全体を上下左右に細かく揺らす様にしてながらゆっくりと抜き取ります。

2 DESERTBOX サイレンサーを仮組みします。



純正サイレンサーからジョイントガスケットを抜き取ります。無理な力を加えますと壊れ易いので優しく取り外して移し替えます。抜き取り難い場合には潤滑剤を接合部にスプレーしてしばらく浸透させると抜き取り易くなります。



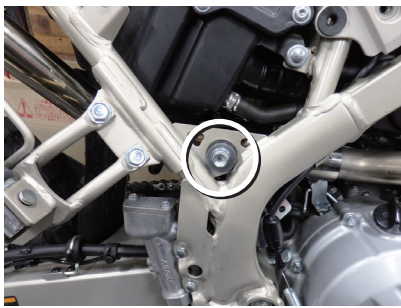
DESERTBOXサイレンサーにジョイントガスケットを挿入しておきます。(ツライチになる所まで挿入しておきます。) 入れ難い場合には無理に押し込まずにグリスを塗って滑りを良くするなどして工夫して下さい。



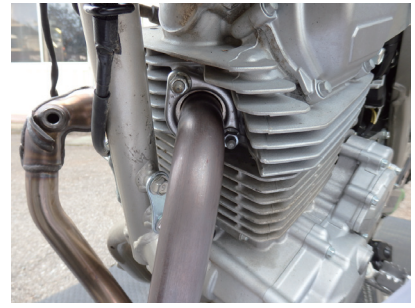
DESERTBOX サイレンサーをエキゾーストパイプに挿入します。ガスケットを傷つけない様にしてながらゆっくりと慎重に差し込んでいきます。あらかじめグリスを薄く塗ってから差し込むと滑りが良くなり、ガスケットを傷めずに入れ易くなります。

- ジョイントガスケットは基本的には再使用しますが、固着して取れなかったり、著しく傷んでいる場合にはKLX230専用サイズの物を別途ご購入の上新品に交換して下さい。
- 純正エキゾーストパイプとの組み合わせ、POWERBOXパイプとの組み合わせ、どちらの場合でも接合部にはジョイントガスケットを使用します。

サイレンサー接合部ジョイントガスケット
カワサキ純正パーツ品番:11061-1407



DESERTBOX サイレンサーを
うまく挿入できない・・・
固定箇所の穴位置を合わせにくい・・・
そんな時は・・・



挿入しながらフレームの固定箇所の穴位置を
合わせます。(細かく揺すりながら差し込んで
いくのがコツです。) 穴位置を合わせたら
純正サイレンサーに使用していたボルト類を
再使用してフレームに仮止めします。

・・・エンジンに固定しているナット(2点)を緩めて
エキゾーストパイプが少し動く様な状態に
しておくと、DESERTBOXサイレンサーを
まっすぐ入れ易くなります。
(最後にナットの閉め忘れのない様に!)



DESERTBOX サイレンサー上部を仮止めします。
純正サイレンサーに使用していたボルト類を
再使用します。

③ 各部の隙間や取付状態を確認し、仮組みしていた箇所全てを本締めします。

本締めに終わったらマフラーに付着した汚れや油分をパーツクリーナーでしっかりと拭き取ります。
汚れや油分がマフラーに付いた状態でエンジンをかけて熱が加わりますと後で落とすのが困難になりますのでご注意ください。

④ エンジンを始動し、接合部から排気漏れの無い事を確認します。

⑤ 取り外していたサイドカバーを元に戻して作業終了です。

最後に外装パーツの内側とDESERTBOXサイレンサーとの間に十分な隙間が確保されている事を確認して下さい。



- ※ マフラー装着完了後も取り付け状態やボルトの緩みのチェックは定期的に行なって下さい。
- ※ 装着直後はマフラー製造時に内部に残った油分や組み込み時に塗り込んだグリスが焼ける事により
白煙や臭いが発生する場合がありますが、しばらく走行を繰り返していくうちに収まって行きます。
- ※ 製品の構造上、ご使用状況によってはアフターファイヤーが発生する場合がありますが、
性能や耐久性に問題が生じるものではございません。
- ※ 製品によってはパイプやサイレンサーの一部に小さな穴を空けています。
これは水抜き用に設けられた穴ですので特に問題はありません。
- ※ しばらくお使いいただく内にマフラー接合部から排気漏れや水滴がたれてくる事があります。
この事は性能に大きな影響を及ぼす様な異常とはなりません、著しく排気漏れが発生している場合には
ジョイントガスケットの交換や接合部に液体ガスケットを塗って組み直す事をおすすめします。

※【グラス・ウールは消耗品です!】

マフラーの使用期間・使用状況によっては、音量が大きくなる事があります。
使用距離: 10,000km毎を目安にサイレンサー内部消音材(=グラス・ウール)の交換をお勧め致します。
(詳細は弊社までお問い合わせ下さい。)

上記の内容を良くご理解いただいた上でご使用下さい。